

P
【単元の目標】

- ・できることを伝えたり尋ねたりすることができる。
- ・行ってみたい都道府県について、伝えたり尋ねたりすることができる。

D
【単元の目標の達成に向けた手立て】

	手立て	資料
①	児童が主体的に取り組めるようにゴールを意識した単元デザインを組む。	1
②	パフォーマンステストを洗い出し、3～6年を見通した指導を行う。	2
③	中学校と連携し、パフォーマンステストでコミュニケーションの機会を確保する。	3 4

C
【単元の目標の達成状況】

- ・約9割がA評価。内2～3割はA+評価。
- ・アンケートの結果、「中学校の先生と話せて楽しかった。」「英語を話そうという気持ちになった。」と答えた児童が全員だった。

A
【改善の方向性】

- ・9割以上の児童がAやA+をとることができた単元もあったことから、難易度を上げるなど、より児童に合ったルーブリックを作成していく。
- ・今回は5年生で小中連携を行ったが、より中学校に近い6年生など、他の学年でもどのように連携できるか探る。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

① 児童が主体的に取り組めるようにゴールを意識した単元デザインを組む。

〔児童（生徒）の活動〕

○毎時間の目標をLesson Plansで確認する。毎時間振り返りを記入する。

○Final activityをLesson Plansで毎時間確認する。

※資料 1

〔教師の指導〕

○パフォーマンステスト（Final activity）までに身に付けるべき言い方を児童に示しながら、毎時間の活動を行う。
○振り返りをチェックして、難しいところは単元の中で繰り返し扱うようにする。

〔工夫点〕

○児童に分かりやすいLesson Plansで、児童と単元の目標を共有し、主体的に取り組めるようにする。

Lesson 5 I can run fast.

Name



Lesson Plans

	Aim	Reflection
1	Understand how to say what <u>you can</u> and <u>can't</u> do. できること・できないことの言い方について知ろう。	① できること・できないこと がわかった。
2	Ask others what they can and can't do, and answer it. できることやできないことについて、たずねたり答えたりしよう。	② お日手かりいする ことがよくわかった。
3	Talk more details about what <u>you can do</u> . できることをもっと詳しく話そう。	③ ^{fast} いかに考える のがよかったです。
4	Understand how to use the third person. He(彼), She(彼女)の使い方を知ろう。	④ HeとSheの使い 方がよくわかった。
5	Ask and answer each other about what you can and can't do. できること・できないことをたずねたり答えたりしよう。	⑤ できることが 分かった。発音も よくなりました。
6	Complete the Can Do Sheet. 「できることシート」を完成させよう。	⑥ 言い方がよ くなりました。たは 何日かしてあげ
7	Talk about <u>what you can do</u> , and try to listen well to others. <u>自分ができていることについて話したり、相手の話をよく聞いたりしよう。</u>	⑦ 初めはたはた まぐでして英語がせ よくなりました。
8	Reflection/Test ふりかえり・テスト	

パフォーマンステストま
でに身に付ける事項を
見やすく提示。

Reflectionで、その時
間でできるようになった
ことを児童が自ら確認。

ゴールを児童と一緒に
毎時間確認する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

② パフォーマンステストを洗い出し、3～6年を見通した指導を行う。

〔児童（生徒）の活動〕

- 小学校の段階では、パフォーマンステストを通して型として、英語表現に慣れ親しむ。
- 3年生からの積み重ねで単語や簡単な言い方を身に付ける。

※資料2

〔教師の指導〕

○どこでどんな内容が扱われているか把握した上で指導に当たる。

○中学校に上がるまでに身に付けるべき事項を意識して指導に当たる。

〔工夫点〕

○中学校のパフォーマンステストでは、既習事項を自分の言葉で話すことが求められるため、小学校で身に付けるべき事項をしっかり押さえる。

(資料2) パフォーマンステストをもとにした系統表 ※進出は赤字

3年	4年	5年	6年
<p>Unit 1 Hello!</p> <p>あいさつをして、名前を言い合う。</p> <p>【使う表現】</p> <p>Hello. / I'm~. / See you.</p>	<p>Unit 1 Hello, world!</p> <p>あいさつをして、友達の好きなことやきらいなことを聞く。</p> <p>【使う表現】</p> <p>Hello. Good morning. Good afternoon. Good night.</p> <p>Do you like~? Yes, I do. No, I don't.</p>	<p>Lesson1 Nice to meet you.</p> <p>自分のことを分かりやすく紹介するスピーチをする。</p> <p>【使う表現】</p> <p>Hello. My name is~. I like~. I want~.</p> <p>色 スポーツ 動物 野菜</p>	<p>Lesson1 Let's be friends.</p> <p>This is me シートを使って、自己紹介をしあう。</p> <p>【使う表現】</p> <p>Where are you from? /What~do you like? / I can~. /When is your birthday? / I'm good at /My favorite place is~ 教科/スポーツ/動物/食べ物・飲み物/できること/月/序数/趣味</p>
<p>Unit 2 How are you?</p> <p>表情やジェスチャーをつけて、どんな様子か尋ね合う。</p> <p>【使う表現】</p> <p>How are you?</p> <p>I'm good/ happy/sleepy/sad...</p>	<p>Unit 2 Let's play cards.</p> <p>晴れの日と雨の日にどんな遊びをしたいか聞いて、表にまとめる。</p> <p>【使う表現】</p> <p>How's the weather? It's 天気</p> <p>Let's~. Yes, let's. Sorry.</p>	<p>Lesson2 When is your birthday?</p> <p>クラスの誕生日カレンダーを作る。</p> <p>【使う表現】</p> <p>When is your birthday?</p> <p>月名 序数</p>	<p>Lesson2 My town is beautiful.</p> <p>自分の町のおすすめ場所をしようかいるシートを作って、グループで町の観光マップを作る。</p> <p>【使う表現】</p> <p>Welcome to~/ We have~. /We can~.</p> <p>施設名/自然/動作/飲食物/建物</p>
<p>Unit 3 How many?</p> <p>漢字の画数を言うことで、好きな漢字を紹介する。</p> <p>【使う表現】</p> <p>How many~? 数/果物</p>	<p>Unit 3 I like Mondays.</p> <p>ペアで好きな曜日を尋ね合う。</p> <p>【使う表現】</p> <p>Do you like 曜日?</p> <p>Yes, I do. No, I don't.</p>	<p>Lesson3 I have P.E. on Monday.</p> <p>夢の時間割を作ってスピーチする。</p> <p>【使う表現】</p> <p>I have 教科.</p> <p>教科 曜日</p>	<p>Lesson3 Welcome to Japan.</p> <p>外国の人に日本の文化を紹介するポスターを作り、日本の文化を紹介する。</p> <p>【使う表現】</p> <p>You can / What do you like about Japan in (August)?</p> <p>味覚/日本の伝統的な文化/行事</p>
<p>Unit 4 I like blue.</p> <p>好きなものを言って、自己紹介する。</p> <p>【使う表現】</p> <p>I like~ Do you like~?</p> <p>色・スポーツ・飲食物・野菜・果物</p>	<p>Unit 4 What time is it?</p> <p>自分が気に入っている時刻とその理由を伝える。</p> <p>【使う表現】</p> <p>It's 時刻. 日課・習慣の表現</p>	<p>Lesson4 This is my dream day.</p> <p>自由な一日があつたら何をしたいか相手に伝える。</p> <p>【使う表現】</p> <p>I (get up) at (7). 日課・習慣の表現</p>	<p>Lesson4 My Summer Vacation</p> <p>夏休みの思い出を絵日記にして、友達と伝え合う。友達に感想を伝える。</p> <p>【使う表現】</p> <p>What did you do in (summer vacation)? / 動詞の過去形</p> <p>形容 (fun/delicious/big/exciting/great/cool)</p>

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③ 中学校と連携し、パフォーマンステストでコミュニケーションの機会を確保する。

〔児童（生徒）の活動〕

○中学生の先輩方と英語でコミュニケーションをとる。

※資料3

○中学校の先生と英語でコミュニケーションをとる。

※資料4

〔教師の指導〕

○Final Activityの1単位時間前に、中学生に来てもらい、英語で何と言ったらいいか教えてもらったり、相手意識をもってやり取りをしたりできるようにする。英語で話す時間を保障する。

○Final Activityの時間に、中学校の英語の先生やALTに来てもらい、英語で話す時間を保障する。

〔工夫点〕

○英語でやり取りする機会を保障するとともに中学校への見通しをもてるようにする。

○英語で話す必然性がある1単位時間にする。
○やり取りのコミュニケーションを行うことで中学校への円滑な連携を図る。



小学5年生と中学3年生で3人ずつくらいの小グループになり、英語での言い方を教えてもらったり、話す練習をしたりする。



☆1人ずつ中学生がつくので、苦手な子も一所懸命取り組む。

☆相手意識をもって英語を話す練習ができる。

☆中学校の英語学習へのあこがれ

資料 4



中学校の英語の先生 2 名、ALT、担任と 4 回 Final Activity にチャレンジできるように、場面を設定。



- ☆英語を使う必然性。
- ☆英語で話す機会をできるだけ多く。
- ☆中学校への見通し。

Lesson5 I can run fast.

Name _____

Final Activity～自分ができることについて話をしよう!～

先生方と「できること」についてお話をして、評価をもらいましょう。

↓

Ms. Yamazaki	Mr. Hirono	Mr. Nakauchi	Mr. Isaac
A+	A	A	A



評価のつけかた

A+	A	B	C	D
I can～の文を3つ、先生の方を見ながら言える。 Can you～?などの質問に答えることができる。 How about you? Can you～? など、自分から会話をすることができる。	I can～の文を3つ、先生の方を見ながら言える。 Can you～?などの質問に答えることができる。	I can～の文を3つ、先生の方を見ながら言える。	I can～の文を3つ言える。	I can～の文を1つか2つ言える。

ルーブリックを共有

- ☆児童と共有→目標をもって取り組める。
- ☆中学生と共有→ルーブリックに沿ってよい評価がもらえるように小学生にアドバイスできる。
- ☆中学校の先生・ALTと共有→同じ基準で評価できる。